

京都市立養正小学校 学校ニュース 学校評価

令和7年3月吉日

校長 浅井 和行

TEL791-7184 FAX791-7185

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yousei-s/>

E-mail:yousei-s@edu.city.kyoto.jp

学校教育目標 「子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進」

全校児童、保護者、教職員による第2回学校評価アンケート(1月)を行いました。その結果をお知らせします。お忙しい中、アンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。アンダーラインを引いている箇所は、第1回と比べて、数値が高い箇所です。良くなっているところは、養正校の強みとして考え、課題は今後の教育活動で改善していく所存です。 *数値は%です。

A…よく出来ている B…大体出来ている C…あまり出来ていない D…出来ていない プラス…ABの合計 マイナス…CDの合計

		A	B	C	D	プラス	マイナス
①子どもたちは、授業中、すすんで意見を発表し、先生や友達の話をしっかり聞いている。	児童	41.7	47	11.3	0	88.7	11.3
	保護者	34.5	63.2	2.3	0	97.7	2.3
	教職員	15.4	84.6	0	0	100	0
②子どもたちは、授業中、ノートをしっかり書いている。	児童	68.7	28.7	2.6	0	97.4	2.6
	保護者	33.3	58.7	8	0	92	8
	教職員	23.1	69.2	7.7		92.3	7.7
③子どもたちは、授業中、タブレットを活用して学習している。	児童	56.5	32.2	11.3	0	88.7	11.3
	保護者	32.6	61.6	5.8	0	94.2	5.8
	教職員	20	66.7	13.3	0	86.7	13.3
④子どもたちは、すすんで読書をしている。	児童	45.2	38.3	13	3.5	83.5	16.5
	保護者	29.9	42.5	23	4.6	72.4	27.6
	教職員	18.8	75	6.2	0	93.8	6.2
⑤子どもたちは、決めた家庭学習をしている。	児童	81.6	14.9	2.6	0.9	96.5	3.5
	保護者	30	52.9	16	1.1	82.9	17.1
	教職員	7.1	85.8	7.1	0	92.9	7.1
⑥子どもたちは、相手の気持ちを考えて、優しくすることができている。	児童	47.8	48.7	3.5	0	96.5	3.5
	保護者	33.3	64.5	1.1	1.1	97.8	2.2
	教職員	29.4	70.6	0	0	100	0
⑦子どもたちは、時や場に応じた言葉づかいをしている。	児童	39.2	50.4	10.4	0	89.6	10.4
	保護者	26.4	71.3	2.3	0	97.7	2.3
	教職員	47.1	52.9	0	0	100	0
⑧子どもたちは、家や学校でほめられている。	児童	45.5	40.2	12.5	1.8	85.7	14.3
	保護者	49.4	48.3	2.3	0	97.7	2.3
	教職員	18.8	81.2	0	0	100	0

⑨子どもたちは、困ったことがあれば、家の人や先生に相談している。	児童	49.6	35.7	9.6	5.1	85.3	14.7
	保護者	31	61	8	0	92	8
	教職員	26.7	73.3	0	0	100	0
⑩子どもたちは、楽しく学校に通っている。	児童	70.2	22.8	6.1	0.9	93	7
	保護者	61	35.6	3.4	0	96.6	3.4
	教職員	35.3	64.7	0	0	100	0
⑪子どもたちは、学校のルールを守っている。	児童	47.8	45.2	7	0	93	7
	保護者	47.1	52.9	0	0	100	0
	教職員	25	75	0	0	100	0
⑫子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。	児童	62.3	31.6	4.4	1.7	93.9	6.1
	保護者	16.1	41.4	37.9	4.6	57.5	42.5
	教職員	7.7	61.5	30.8	0	69.2	30.8
⑬子どもたちは、気持ちのよいあいさつをしている。	児童	82.5	15.8	1.7	0	98.3	1.7
	保護者	43.7	51.7	4.6	0	95.4	4.6
	教職員	43.7	43.8	12.5	0	87.5	12.5
⑭子どもたちは、すすんでスポーツや外遊びをしている。	児童	62.7	25.5	10	1.8	88.2	11.8
	保護者	37.9	46	13.8	2.3	83.9	16.1
	教職員	17.6	70.6	11.8	0	88.2	11.8
⑮子どもたちは、早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についている。	児童	54.9	34.5	9.7	0.9	89.4	10.4
	保護者	26.7	53.5	19.8	0	80.2	19.8
	教職員	0	69.2	0	30.8	69.2	30.8
⑯子どもたちは、歯磨きの習慣が身についている。	児童	54.9	36.3	8	0.8	91.2	8.8
	保護者	33.7	52.3	14	0	86	14
	教職員	7.7	69.2	23.1	0	76.9	23.1
⑰学校は、整理整頓され、学習環境が整っている。	保護者	47.1	43.7	6.9	2.3	90.8	9.2
	教職員	29.4	70.6	0	0	100	0
⑱学校は、学級通信などのお便りやホームページで学校の情報を伝えている。	保護者	79.3	19.6	1.1	0	98.9	1.1
	教職員	60	40	0	0	100	0
⑲学校は、PTA・地域と連携した教育を進めている。	保護者	70.1	29.9	0	0	100	0
	教職員	75	25	0	0	100	0

第1回の課題と比べて

設問⑦子どもたちは、時と場に応じた言葉づかいをしている。に対する取組

設問⑦については、保護者のプラス評価が前期よりも 8.9％高くなりました。教職員のプラス評価も前期同様100％を維持しています。

一方で、児童のプラス評価は 1.6％低下していますが、授業や教職員によるていねいな言葉づかいのモデル提示を通して、中・高学年はもちろん、低学年にもていねいな言葉づかいが浸透してきています。教職員以外に、保護者や地域の方々にもその点を評価していただくことで、児童の自己評価が高まり、学校外でも挨拶やていねいな言葉づかいを意識できると考えております。

設問⑩子どもたちは、歯磨きの習慣が身についている。に対する取組

設問⑩については、児童・教職員ともにプラス評価が前期よりも高くなりました。児童は 0.9％、教職員は 5.5％の上昇が見られました。これらは、教職員が意識的に歯磨きタイムを再徹底したことや歯磨き指導を通して歯磨きの重要性を児童に指導したことがプラス面の評価に現れたと考えています。一方で、保護者のプラス評価が 8％下がっています。これは学校での歯磨き習慣はだんだんと身についてきているものの、家庭での歯磨き習慣がまだ定着できていない部分があるのではないかと考えられます。歯磨きは朝・昼・夜と1日3回することが理想ですが、特に就寝前の歯磨きが最も効果的だと言われています。まずは就寝前の歯磨きを意識的にできるように「歯の日」の取組や生活しらべなどを通して働きかけていければと思います。

第2回目の課題

設問⑫子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。に対する取組

設問⑫については、児童のプラス評価が 93.9％であるものの、保護者と教職員のマイナス評価がそれぞれ 42.5％と 30.8％となっています。これは、児童と保護者のメディア使用のルールに対する認識にズレがあるのではないかと考えられます。また教職員のマイナス評価については、小学生のスマホ所有率が上がるにつれ、スマホに関するトラブルの増加や過度な使用による生活習慣や体調への影響を感じているからではないかと思っています。学校では、情報モラルの授業を通して、メディアの不適切な利用が引き起こすトラブルや過度な使用による生活習慣や体調への影響について指導していきます。ご家庭でも今一度メディア使用のルールについてお子様と話し合っていたいただければ幸いです。

設問⑮子どもたちは、早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についている。に対する取組

設問⑮については、児童のプラス評価が 89.4％であるものの、保護者と教職員のマイナス評価がそれぞれ 19.8％と 30.8％となっています。児童の自己評価は高い反面、保護者や教職員の評価が低いという設問⑫と似た傾向が見られます。食に関する指導により子どもたちは朝食の重要性を理解しており、多くの子どもたちは朝食を食べてきています。一方で生活しらべの結果を見ると、学年が上がるにつれ、早寝早起きができいない児童が増加する傾向があります。規則正しい生活習慣は学力向上の基礎となります。食育・保健指導・情報モラル教育など、様々な観点からその重要性を伝え続けていきます。

自由記述欄より(回答順)

○少人数で丁寧に関わって下さるが故なのか、宿題は他校より多いのではないかと思います。子どもさんによっては適正量なのかもしれませんが、一律で出される課題はうちの子にはどうしても負担になります。個別対応にはとても感謝しています。何とか学校全体でも軽減してもらえたら良いなあと思います。

○泣きながら宿題をやる事が多いので、勉強嫌いになっていそうで心配です。家庭でも勉強が楽しめる工夫が必要だと感じつつ、なかなか難しいです！勉強が楽しめるの良いなあ。

貴重なご意見ありがとうございます。本校では子どもたちが学習の基礎基本を徹底し、確かな学力をつけるため、音読漢字、計算、自主学習の宿題を出しています。特に自主学習は、自分で計画を立てて学習する習慣を身につけることや学習したことをノートに整理して、まとめて書く力をつけるために力を入れています。今年度は、にこにこ集会で優れた自学を紹介する「J-1グランプリ」も開催しており、グランプリに選ばれることを励みにがんばっている子たちもいます。子どもの過剰な負担になっていたり、勉強嫌いになりそうとご心配されたりしている場合は、個別に対応させていただきますので、まずは担任にご相談ください。

○おかげさまで、6 年間、毎日楽しく通い続けてくれました。上級生が下級生を思いやりながら、よい手本となる文化が続いているように思います。また、子ども自身も養正小学校の生徒で良かったと感じています。今後も、学習面以外の子どもの育ちについてもていねいに支えていただきたいです。

○少しずつ思春期に突入しているようで、学校であったことや悩みを話さなくなり、親としてはさびしくもあり不安もあるのですが、「もしも何かあれば先生に相談する！」という言葉聞き、家とは別の安心して話せる場所があるということにとても感謝してます。

○毎日の帰宅後には、「今日、先生がな…」「〇〇さんがな…」と話が止まらず。「全力で楽しんでるなあ」と思いながら聞いています。先日のオンライン授業の休憩時には、楽しそうな声がたくさん聞こえてきて、微笑ましかったです。

○学校の先生方には、いつも子どもと保護者に寄り添っていただき、こちらの想像以上に手厚い対応をしていただいており、感謝しかありません。本当にいつもありがとうございます。

○家庭訪問の時に、先生に子どものお手伝いのことをとても褒めていただいたり、家で作ったたくさんの工作をじっくりと眺めて手に取ってくださったりしていただいてよかったです。国語の授業で学んだ内容を活かして子どもが作ってる様子を察していただき、私も子どもの学びの様子が垣間見れてうれしく思いました。

○子どもたちとしっかり関わってくださり、本当にありがとうございます。先生方がいつも細やかに声かけしてくださるので、子どもたちが安心して学校に通うことができていると思います。

学校運営協議会より

○子どもたちの SNS の利用が当たり前になってきている現代において、SNS などのメディアが関係するトラブルや過度な使用による生活習慣や体調のへの影響は避けては通れない問題であるので、保護者や学校が協力して子どもがどのようにメディアと付き合っていけばよいか考えていくことが大切である。

○宿題については、内容や量において様々な意見や捉え方がある。基礎基本の定着という観点からはある一定の量は必要と言える。また作文などアウトプットする力を育成する内容の宿題も取り入れていくことも大切ではないか。一方、児童1人1人の得意なことや苦手なことに応じた支援や個々への柔軟な対応も必要であり、個々のがんばりを適切に評価して、子どもたちの自己肯定感が高まるように進めていってほしい。